

# 山梨県出身隊員の紹介

## 陸上自衛隊高等工科学校

### 自衛隊山梨地本便り

(発行) 自衛隊山梨地方協力本部 募集課広報班  
山梨県甲府市内丸の内1-1-18 甲府合同庁舎  
055-253-1591

山梨地本 Twitter



Instagram



陸上自衛隊には「技術的な職能を有し、知徳体を兼ね備えた伸展性のある陸上自衛官としてふさわしい人材を育成する。」という理念のもと、陸上自衛官を育成する陸上自衛隊高等工科学校があります。今月号では、同校の教育や訓練の様子を、山梨地本から入隊した生徒の声で紹介します。

1 生徒第67期 第1教育隊 第11区隊 深澤 謙太 (御殿場市立原里中学校卒)



同期の友達もたくさんでき、時間を有効的に使うことができようになり、日々とても楽しく過ごすことができています。コロナ禍の今、通常の学校生活を送ることができていませんが、それも貴重な体験となっていると思っています。

本校の受験を考えている人は、親元を離れることなどの不安や、受験勉強が大変だとは思いますが、今の努力が結果として実を結んだとき、自信になると思います。ぜひ自分の目標や夢をかなえられるように頑張ってください。

2 生徒第65期 第3教育隊 第7区隊 村松 龍葵 (甲府市立城南中学校卒)



「創立記念行事」です。創立記念行事当日は、学校は一般開放され、学校内の様子や様々な文化クラブ展示、ドリル部や和太鼓部の演技・演舞を見ることができ、本校見学にはお勧めの行事です。

(二) 武山で過す日々も残り少なくなってきた今、自衛官への任官に向け、勉強と体力練成に全力で励みたいと思っています。また3年間ともに過ごした同期との最後の思い出づくりをしたいと思っています。

親元を離れて入隊することは、大きな不安を抱くとは思いますが、本校では充実した環境での教育や訓練、同期との集団生活など、普通の高等学校では味わうことのできない経験をたくさんすることが出来ます。本校を卒業する頃には、強靱な体力と精神力が身に付き、国防という崇高な任務を担うことができる人間に成長することが出来ます。

また、学校生活で一番印象に残っていることは、北富士演習場で行われた「富士野営訓練」です。起伏が激しく、天候が変化しやすい演習場での訓練は、武山駐屯地内での戦闘訓練よりも体力の消耗が激しく、自分の体力の限界を感じることとなりました。



私は、幼い頃に東日本大震災での自衛隊の活動に触れ、憧れて自衛官になろうと考えました。中学生のときに、陸上自衛隊高等工科学校について知り、自分の得意分野である技術系の勉強ができ、かつ将来自衛官として部隊で活躍できると思い、本校



次に、一番楽しかったのは



## パネル展示 (イオンモール甲府昭和)

山梨地本は、9月7日(火)から15日(水)の間、イオンモール甲府昭和においてパネル展示を実施しました。海上自衛隊の職種紹介をテーマに、航空機の整備や調理、事務作業など、船以外にも多種多様な仕事があることを山梨地本のマスコットキャラクターの「ふじくん」、「かえでちゃん」が説明しました。ポスターをご覧になられて、自衛隊に興味を持たれた方は、お気軽に地本本部又は各募集事務所にお問い合わせください。

山梨地本では、今後も様々な機会を通じて自衛隊に関する情報を発信していきます。県内各地でのパネル展示の他、HPやSNSでも自衛隊や山梨地本の活動を紹介していきますので、アクセスやフォローをお願いします。



## 採用試験受付中!

自衛官 募集中



### 陸上自衛隊 高等工科学校

- 資格: 17歳未満の男子 (中卒(見込含))
- 受付期間: 11月1日~1月14日まで
- 1次試験日: 1月22・23日

### 自衛官候補生

将来のキャリアアップを目指す!

- 資格: 18歳以上33歳未満の男女
- 受付期間: ~12月2日まで
- 試験日: 12月6・7・8日 (WEB試験)

### 自衛隊貸費学生

知識と技術で拓くスペシャリストへの道!

- 資格: 大学の理学部・工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く。)修士課程在学(正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))
- 受付期間: 1月14日まで
- 1次試験日: 1月29日

【お問い合わせ先】 山梨地方協力本部: 055-253-1591 大月地域事務所: 0554-22-1298

甲府募集案内所: 055-228-6427 同巨摩地区担当: 055-283-5150

【HP】 <https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>



# 山梨県任期制隊員合同企業説明会

山梨地本は、9月16日(木)ベルクラシック甲府において開催された、一般財団法人 自衛隊援護協会東京支部が主催する「令和3年度山梨県任期制隊員合同企業説明会」を支援しました。

この説明会は、日頃から訓練等で再就職活動の機会が限られる任期満了退職予定隊員を対象に「自衛隊新卒」として再就職準備を円滑に進めさせる事を目的とするもので、山梨県では初の開催となりました。

会場は「密」の回避、ソーシャルディスタンスの確保等、感染防止対策に万全を期した上での実施となりました。

今回は、山梨県内外より合計21社の企業が参加し、また山梨県内外の任期制隊員11名が説明会に参加しました。

参加隊員は面談を通じて、パン

フレットや資料だけでは分からない仕事の内容などを直接確認するとともに、自己PRを積極的に行うなど面談時間を有効に活用していました。

また、閉会式の際には山梨県自衛隊退職者雇用協会会長であります進藤様より、参加企業へのお礼とともに、参加隊員に対し県内産業を支える人材となつてほしいとの激励のお言葉をいただきました。

参加した企業からは、「感染予防がしっかりとされており安心して面談を実施することが出来た。」との感想をいただきました。

また、参加隊員からは「今まで就職先として興味を持っていなかった業種についても話を聞くことが出来て大変有意義だった。」との感想が聞かれました。

今後、隊員は具体的に就職先を決定し、企業による試験、面談に



# 秋季の採用試験はじまる

山梨地本は、9月から一般曹候補生と自衛官候補生の秋季の採用試験を皮切りに各種目において採用試験が始まりました。感染患者数は減少傾向にはありますが、引き



続き新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限に留意して採用試験を実施しています。

9月17日(金)から19日(日)の午前一般曹候補生1次試験、午後自衛官候補生筆記試験を甲府合同庁舎並びに、都留市にある山梨県男女共同参画推進センターびゅあ富士の2ヶ所においてそれぞれ実施しました。また、10月に入つてからは、2日(土)、3日(日)に自衛官候補生の口述試験・身体検査、5日(火)に予備自衛官採用試験、9日(土)から11日(月)に一般曹候補生2次試験を北富士駐屯地においてそれぞれ実施しました。口述試験を受験した高校生は、「部活動で得た経験を生かし、頑張りたい」等、それ

どの思いをアピールしてました。さらに、16日(土)に防衛医科大学校看護学科、23日(土)に防衛医科大学校医学科の採用試験を甲府合同庁舎で実施しました。

長い試験時間にもかかわらず、どの試験会場においても受験者達は、最後まで真剣な表情で試験に臨んでいました。

今後、11月6日(土)、7日(日)に防衛大学校採用試験、11月13日(土)に自衛官候補生採用試験が予定されています。

なお、自衛官候補生採用試験の受付及び各種採用試験のご案内は、年間を通じて行っています。詳しくは山梨地本までお問い合わせください。

今回事業説明会を実施することで、参加隊員も地本にとつても大変有意義なものであったと認識しており、次年度においてもより充実した説明会を開催し、隊員に対し、より一層手厚いサポートができるように努めます。

10月11日(月)山梨地本は、東京オリンピックに出場した自衛隊体育学校所属であり山梨県笛吹市出身の乙黒圭祐3等陸尉及び乙黒拓斗2等陸曹(共にレスリング)、また二人と同じ山梨学院大学出身の濱田尚里1等陸尉(柔道)の表敬を受けました。

本部長等との懇談では、3名の方々は、和やかな雰囲気の中で、東京オリンピックに向けての練習の様子や近況について、それぞれ話していただきました。また、同行された同校副校長石津1等陸佐(元山梨地本長)からも応援に対するお礼の言葉をいただきました。

選手の皆様さん、オリンピックでの御活躍にあつため拍手を送りたい

## 自衛隊山梨地本便り

【発行】山梨地方協力本部 募集課広報班  
山梨県甲府市丸の内1-1-18 甲府合同庁舎  
055-253-1591

# 予備自衛官5日間訓練

山梨地本は、9月17日(金)から9月21日(火)までの間、第1特科隊第3中隊が担任・実施した令和3年度第2回予備自衛官5日間訓練に、予備自衛官56名を招集しました。

山梨県ではまん延防止等重点処置が12日に解除されたばかりの状況での訓練となりましたが、出頭した予備自衛官は整者と訓練開始式に臨み、第3中隊長に対して訓練開始申告を行い、引き続き予備自衛官旗を授与されました。

また、本訓練間には、山梨地本部長より年齢上限まで任期を全うした予備自衛官に対し頭章の授与及び、永年勤続者に対する永年勤続表彰伝達が行われました。

予備自衛官の方からは「装備品等も時代とともに変化し、扱うべき隊員の質の向上も求めら



れると実感した」等のご意見をいただくとともに、初出頭となった予備自衛官の方からは「貴重な訓練を体験でき勉強になった」等の感想が聞かれました。

山梨地本は今後も予備自衛官、雇用企業及び部隊との綿密な調整を行い、皆さんが安心して訓練に参加出来るよう出頭環境の整備に努めます。

# 体育学校選手来訪

10月11日(月)山梨地本は、東京オリンピックに出場した自衛隊体育学校所属であり山梨県笛吹市出身の乙黒圭祐3等陸尉及び乙黒拓斗2等陸曹(共にレスリング)、また二人と同じ山梨学院大学出身の濱田尚里1等陸尉(柔道)の表敬を受けました。

本部長等との懇談では、3名の方々は、和やかな雰囲気の中で、東京オリンピックに向けての練習の様子や近況について、それぞれ話していただきました。また、同行された同校副校長石津1等陸佐(元山梨地本長)からも応援に対するお礼の言葉をいただきました。

選手の皆様さん、オリンピックでの御活躍にあつため拍手を送りたい



# 装備品紹介 (機動衛生ユニット)



日本の空の平和と安全を守る航空自衛隊は最新の装備品等を駆使して領空を防衛します。保有する装備品は、直接戦闘に関わるものだけでなく、後方支援まで様々です。今回は、重症患者を輸送航空機で搬送し機内での患者対応を行う機動衛生ユニットを紹介いたします。

機動衛生ユニットは、機体の改修を伴わずC-130Hに2台搭載可能であり、重篤な傷病者に対して高度な机上医療を行いながら、重傷度に応じて1ユニット最大3人までの患者を搬送することが出来ます。各種事態等において発生した重篤な傷病者を、航空機による搬送により、発生現場近傍飛行場から最終医療機関近傍飛行場までの間を後送する際に必要な机上医療を実施することが出来ます。

